◆◇ メディアセンターニュース（習志野版） ◇◆==========
Vol.2 No.5 (2006.9.30)

□発　行　者：メディアネットセンター長　山内長承
□編集・発行：習志野メディアセンター
ネットワークセンター
E-Mail: office.nmc@ml.toho-u.ac.jp

==========

【 習志野メディアセンター 】▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

---

01. 情報調査室のPC利用環境の整備
http://www.mnc.toho-u.ac.jp/nmc/somu/pc_rogin2006.pdf

習志野メディアセンター情報調査室のPCの利用方法が変わりました。PCを利用する際に、IDとパスワードによるログオンが必要となります。

このシステムの導入で、情報調査室のプリンタ利用枚数に制限がかかります。詳しくは、当ニュースのネットワークセンターの項目をご覧ください。

---

02. スタジオ利用（定期授業以外）の予約方法の変更（教職員対象）
http://www2.toho-u.ac.jp/studio/

教職員が、定期の授業以外でマルチメディアスタジオを利用する際の、予約申込み手続きが次の通り変更されました。

①習志野メディアセンターのホームページからスタジオ利用状況を確認する。
②使用希望日時に空きがある場合は、所定のメールフォームで予約の申込みメールを送る。

---

03. 文献データベースや電子ジャーナルを中心とした研究室単位の講習会
http://www.mnc.toho-u.ac.jp/nmc/chosa/annai2006_05.htm

文献データベースや電子ジャーナルの利用方法を中心とした講習会を開催します。申込は研究室毎とし、１時間程度の講習時間で、内容については適宜相談にのります。詳細はホームページをご覧ください。

---

04. 日大生産工学部、千葉工業大学で借りた資料をメディアセンターで返却
http://www.mnc.toho-u.ac.jp/nmc/somu/narashino3daigakukoumoku.htm

---

習志野３大学（日大生産工学部、千葉工業大学、東邦大学）では、従来より資料の相互貸出制度を運用してきたが、2006 年 10 月 1 日から、返却窓口となる図書館が指定可能となった。

つまり、日大生産工学部、千葉工業大学で借りた資料を習志野メディアセンターで返却できるようになりました。必要な手続きは、貸出を受ける際に返却窓口を指定することと、所定の用紙への要事項の記入です。

ただし、資料の形態等によっては、従来通り借りた図書館へ直接返却する必要があります。

---

05. OPAC から図書の購入申込みが可能となった（教職員・大学院生対象）
http://www.mnc.toho-u.ac.jp/nmc/ecats_guide/ecats_user_request.htm

---

OPAC 画面から貸出中の資料の予約や文献複写の申込みができる「リクエストサービス」に、教職員、大学院生を対象とした"図書購入申込み"機能が追加されました。習志野メディアセンターで所蔵していない図書の購入を、Web からの申込みが可能となりました。詳細はホームページをご覧ください。

---

06. 利用可能電子ジャーナルの追加
http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/ej/index.htm

Pubmed Central で新たに利用可能となった電子ジャーナル 28 タイトル、無料誌等 2 タイトルが電子ジャーナルリストに追加されました。

また、メディカルオンラインで提供される国内医学系雑誌 11 タイトルが電子ジャーナルリストに追加されました。詳細はホームページをご覧ください。

==========

【 メディアネットセンター 】▼▼▼

アネットセンターの提供サービスやサポート事業が一覧できます。

==========

【 ネットワークセンター 】▼▼▼

(3)第 2 マルチメディアラボラトリ利用状況

稼働日数:7 日、総利用者数：123 人（薬学部：22 人、理学部：101 人）

(4)ネットワークサポートデスク利用状況

稼動日数:23 日、総利用者数 11 人（教員：3 人、事務職員：8 人）

---

03. セキュリティ対策（Mail 用ウィルスチェック集計結果：8 月）

・検知駆除したウィルスの総数　　：6,101 件

・検知駆除したウィルスの種類　　：　46 種

・学外から学内への感染メール駆除：5,324 件

・学内から学内への感染メール駆除：　777 件

・学内から学外への感染メール駆除：　　0 件

▲▲▲